

# 公益財団法人ふくい産業支援センター

## 平成29年度 事業報告

### 概要

我が国経済が緩やかな回復を続ける中で、当センターでは平成27年4月に福井県が改訂した「福井経済新戦略」にもとづき、県内企業の新分野進出等を促進する中核的支援機関として県や他の機関等と連携を図りながら、新しい取り組みに意欲的にチャレンジする企業を積極的に支援しました。

国の委託事業により事業承継支援を担う関係機関のネットワークを構築し、各機関と連携しながら、事業承継診断の実施やニーズの掘り起こし、課題解決のための支援機関の連携等を図り、本県で行う事業承継支援の促進を図りました。

創業予定者を対象にビジネスプラン策定等に関する少人数のワークショップを新規に開催したほか、女性創業相談窓口での相談対応や創業マネージャーによる伴走型の支援により、創業の後押しと事業化までの支援を行い、起業・創業の促進を図りました。また、ピッチイベントの開催によりビジネスパートナー獲得や資金調達を支援しました。

大手食品卸売企業や近畿各府県の企業等との商談会の開催や、こだわりの食品を集めたバイヤー向けWEBサイト等を通じて、特徴ある県内企業の商品・技術の県外への販路開拓や受注獲得を支援しました。

ふくいの逸品創造ファンドによる地域産業資源を活用した新商品開発や販路開拓に対する助成の他、ふるさと企業育成ファンドによる新分野展開への取り組みや、地域に親しまれている老舗企業の店舗改装等に対して費用の一部を助成しました。

本県に高機能新素材やライフサイエンス産業の一大拠点を形成するため設立された「ふくいオープンイノベーション推進機構」で行う産学官金の共同研究を、県等と連携して積極的に支援・実施すると共に、産業技術総合研究所等との共同研究に向けた可能性試験調査研究等の実施をとおして、新たな成長産業分野への技術開発を支援しました。

サンドーム福井に整備された「福井ものづくりキャンパス」において、ものづくり企業、職人、デザイナー、学生など幅広い層を対象に講座・教室等を開催するなど、地場産業や伝統工芸品等を中心とした売れる商品づくりを支援しました。

中小企業産業大学校において、これまでの体系的な集合研修の開催に加え、県内ものづくり企業の業務改善等を現場で指導する人材を育てる「福井ものづくり改善インストラクタースクール」を継続して開講し、インストラクター派遣に向けた人材育成を行いました。また、今年度よりスクールで養成したインストラクターを県内企業に派遣し、具体的な生産改善活動を支援しました。

## 事業報告

### 経営相談、創業・経営革新支援、経営情報の収集・提供に関する事業 【公益目的事業1】（297,628,783円）

中小企業等が抱えるさまざまな経営課題に対して、各分野の専門家の適切な助言や施策あつせん、創業間もない企業や新商品開発・新事業展開に取り組む企業への事業計画作成支援・課題解決への助言および取組みの推進、中小企業のIT活用の促進、企業経営に役立つ地域経済・産業および中小企業動向等に関する情報提供を行いました。

#### （1）経営相談サポート（6,509,595円）

##### ①総合相談

企業経営に関する幅広い知識と財務や技術等の専門的なノウハウを持つ中小企業診断士が総合相談窓口において、職員と連携しながら創業、経営革新、IT活用等の相談に対して適切な助言を行いました。

○相談実績 1,404件      うち女性経営者からの相談 213件

《主な相談内容》

- ①融資・補助金に関する相談（33%）
- ②経営指導に関する相談（26%）
- ③経営革新に関する相談（7%）
- ④情報提供に関する相談（6%）
- ⑤新規創業に関する相談（4%）
- ⑥販路開拓に関する相談（4%）

##### ②創業・新事業展開ワンストップ相談会

創業者や経営革新等に取り組む中小企業者等が抱える悩みに応えるため、当該分野の専門家を交えた相談会を各地で開催し、適切なアドバイスを行いました。

○相談会開催回数 15回      相談実績 78件

#### （2）嶺南サテライトオフィス設置（4,386,152円）

平成29年4月にアクアトム（敦賀市）2階にサテライトオフィスを移転し、専門家による各種の相談対応や職員の地域企業等の巡回等を通じて経営相談対応や起業・創業等のサポートを行いました。

○嶺南企業訪問数 967社      施策活用実績 723件（286社）

#### （3）専門家派遣（10,167,360円）

##### ①専門家派遣

創業を目指す起業家や中小企業者等が抱えている技術開発、商品開発、マーケティング

ィング、情報化等、様々な経営課題を解決するため、それぞれの分野に精通した知識や経験を有する専門家を相談者の事業所に派遣（上限10回）し、課題解決のための適切な指導・助言を行いました。

○派遣先企業数 28社 派遣回数 231回

#### ②<sup>新</sup> 専門家派遣（サービス産業グループ支援）

小売業、サービス業の創業予定者や中小企業等が5社以上のグループで取り組む付加価値向上等の課題を解決するため、それぞれの分野に精通した知識や経験を有する専門家をグループに派遣（上限20回）し、課題解決のための適切な指導・助言を実施しました。

○専門家派遣数 2グループ 派遣回数 40回

※参考 [類似事業]：中小企業・小規模事業者ビジネス創造等支援（近畿経済産業局ミラサポ専門家派遣）での専門家派遣（無料、原則1企業3回まで）  
派遣先企業数60社 派遣回数154回（デザイン5社/15回・IT1社/3回含む）

#### （4）よろず支援拠点 [経済産業省委託]（42,820,911円）

中小企業・小規模企業者の経営支援体制をさらに強化するために国が設置した本県の「よろず支援拠点」として、よろず支援コーディネーター等と共に総合的先進的経営アドバイスや、的確な支援機関・支援施策等の紹介等をワンストップで行いました。

《チーフコーディネーター》1名 《コーディネーター》8名

○相談実績 2,177件

#### （5）高度化事業診断・指導（739,422円）

##### ①高度化事業診断受託

県が実施する中小企業高度化事業について、集団化診断、共同施設診断等の診断や事後助言業務を受託しました。

○診断件数 6件

##### ②高度化資金貸付先指導受託

県の高度化資金貸付先に対して、経営状況の把握や経営指導を行う業務を受託しました。

○指導件数 4件

#### （6）<sup>新</sup> 事業承継ネットワーク構築（5,758,419円）（中小企業庁委託事業）

福井県と共同で事業承継支援を担う47機関のネットワークを構築し、各機関と

連携しながら、事業承継診断の実施やニーズの掘り起こし、課題解決のための支援機関の連携等を図りました。

- 連携会議の開催 2回（7/19 [キックオフ]、12/22）
- 事業承継診断の実施 801件
- アンケート調査の実施
- セミナー・勉強会の開催 3回 参加者 282名  
（企業向け2回、構成機関向け1回）
- 福井県版事業承継マニュアルの作成
- 事業承継ネットワークポータルサイト・メーリングリストでの情報提供

#### （7）Eビジネス・キャリアアップ支援（3,188,603円）

県内中小企業等のインターネットを活用した商品・サービスの販路拡大の支援を強化するため、WEBサイトの構築やマーケティングなどネット通販・取引に関する情報提供や、支援施策の紹介・あっせん等を一元的に行う「ネット通販・取引支援センター」を運営しました。

また、これからネット通販に関心を持つ県内の学生、女性を対象に、ネット通販に関する知識とノウハウを習得するワークショップを実施するとともに、参加者と県内ネット通販事業経営者との交流会を開催することで県内Eビジネス人材の強化を図りました。

- ネット通販取引支援センターの運営
  - ・来訪者数 1,887人 資料貸出利用件数 2,101件
  - ・相談対応件数 221件
- ネット通販の運営スキル習得ワークショップと交流会の開催
  - ・開催回数 年10回 延べ参加者数 134人

#### （8）IoT推進支援（－）

IOTの導入・活用に関する相談対応や情報提供などを行う福井県IoT推進ラボを、国や県と連携をはかりながら運営し、県内企業のIoT活用に関する相談対応や情報提供、モデルプランづくり等を支援しました。

- IoTのビジネス活用に関する相談対応 17件

#### （9）福井県産業情報センター運営（120,980,740円）

##### ①産業情報センター施設運営

県からの指定を受け、福井県産業情報センターの各施設・設備の貸出業務や維持管理等の運営業務を行います。小割化した入居施設やコワーキング<sup>(\*)</sup>スペース、マルチメディアサポートセンターに整備した4Kカメラや編集機器、インターネット配信機器等の最新映像機器を有効に活用しITベンチャーが利用

しやすい環境を提供して、情報化に関連した創業者の育成、情報産業振興の拠点施設として利用促進を図りました。

〔 ※フリーランスの方や起業家などが事務所スペース、会議室、打ち合わせスペースなどを共有しながら独立した仕事を行う新しいワークスタイルです。 〕

#### <施設の入居および貸出件数>

○インキュベートルーム、共同研究室、技術開発室の入居件数	329件
○マルチホール、会議室等の施設貸出件数	774件
○マルチメディア制作コーナーの施設貸出件数	113件
○コワーキングスペース利用者数	2,904人
○嶺南支所パソコン実習室の施設貸出件数	18件

#### ②情報化人材育成

県内の情報化人材の育成・確保を図り、中小企業等の情報化を支援するため、日常業務に役立つ実践的な研修やインターネット販売等の電子商取引（EC）、IoTやビッグデータ分析などの各種研修を産業情報センターおよび情報センター嶺南支所で実施しました。

○IoTコース 61講座（82回） 受講者数 1,020人

#### （10）ITセミナー（1,176,759円）

インターネットの業務活用を目指す県内の中小企業やIT関連の事業者等を支援するために、ネット販売に関する実践的なノウハウ、Web制作者向けの最新ノウハウ、IoT、AIやVR/ARといった最新動向に関するセミナーを行うとともに、セミナー参加企業間の情報交換やビジネスマッチングを目的とした交流会や最新のIT技術を活用したアプリ開発合宿を行いました。

○IT活用販路拡大セミナー・交流会	1回	受講者数	101人
○IT技術活用セミナー・交流会	3回	受講者数	150人
○ご当地アプリ開発合宿	2回	受講者数	54人
○地元IT企業と中小企業等のビジネスマッチング交流会	1回	共同出展	7社

#### （11）学生ソフトコンペティション（561,517円）

学生対象のソフトウェアコンペティションを実施しました。アプリケーション作品などを公募・審査し、次世代を担うIT技術者の発掘・育成を図りました。

○大賞1点、部門賞2点、福井県IT産業団体連合会会長賞1点、協賛企業賞13点、奨励賞2点、チャレンジ賞1点

#### （12）経営安定アフターフォロー（929,532円）

創業間もない企業や経営革新計画の承認を受けた企業などが事業を遂行する上で

抱える経営上の悩みや問題を早期に把握し、それら課題の解決を図るため、コーディネータとセンター職員が、相談者の事業所を訪問して指導・助言を行いました。

○訪問企業数 50社（経営革新43、専門家派遣7）

(13) ⑧ 支援センター見える化強化（6,599,135円）

情報誌やホームページ、イベント開催等を通じて、当センター事業や成果のほか、企業経営や産業に関する情報を広く発信しました。

①情報誌「F-ACT」

最新の経済トピックスをテーマとした特集や、経営、マーケティングに役立つ連載、新事業に取り組む県内企業インタビューなど、県内企業に役立つ情報を掲載した情報誌を隔月で発行しました。

○年6回（偶数月発行） 発行部数 3,900部/回

②インターネットによる情報提供

当センターホームページをより利用しやすくリニューアルするほか、SNSを積極的に活用して、企業に役立つ情報をタイムリーに発信しました。

③⑨メディア向け合同プレゼンテーション会

当センター事業を活用した企業を対象に、事前にプレゼン指導等を行い、メディア向けに新商品や新しい取り組みを発表するプレゼンテーション会を開催しました。また、企業のプレゼンテーションの様子を当センターのホームページでLIVE配信するほか、いつでも閲覧できるようにすることで、企業のPRを支援しました。

○開催回数 2回 参加企業数 10社 参加メディア数 延べ9社

④⑩情報センターを会場としたイベント

kumando ウィークとして、ソフトパークふくい(協)と連携し、情報化をテーマとした基調講演やワークショップ、セミナー等を情報センタービルにて集中的に実施しました。

○基調講演 1回 参加者数 136名

○ワークショップ 2回 参加者数 54名

（参考）他の事業によるセミナー等 8回 参加者数 357名

⑤冊子やパネルによる広報

支援成果を紹介するパネル展の開催や、パンフレット、活用事例集、中小企業施策ハンドブック等を作成・配布して事業の周知に努めました。

(14) ふくいナビ等機器管理 (8, 503, 992円)

「福井県産業情報ネットワーク」(愛称:「ふくいナビ」)の機器管理およびホームページやメールマガジンの運営を行い、中小企業支援機関における情報の共有化を推進しました。

○メールマガジン「ふくいナビ情報」講読者数 1, 955人(29年度末現在)

(15) ⑧ ふくい創業者育成プロジェクト (8, 156, 475円)

創業者向けのセミナーの開催や相談・助言を行うことにより、女性や若者、U・Iターン希望者などの創業への取り組みを支援しました。

①ふくい創業者育成体制整備

(ア) 創業マネージャー設置

創業から事業化までを伴走型で支援する創業マネージャーを3名配置し、産業情報センターコワーキングスペースを拠点として創業者等への相談対応を行いました。

○相談実績 393件

(イ) 福井ビズカフェ

創業セミナー・交流会「福井ビズカフェ」を開催し、創業に関する情報の提供や創業意識の醸成、創業希望者の発掘を行いました。

○開催回数 5回 参加者数 135名

(ウ) ⑨ 創業塾

創業間もない起業者を対象に、少人数制のワークショップにより、講師のアドバイスをとおしてビジネスをブラッシュアップするための実践型セミナー「ふくい創業ゼミ」を開催しました。

○開催回数 1回(4回シリーズ) 参加者数 8名

②ふくい女性創業チャレンジ支援

(ア) 女性創業窓口設置

ふくい女性活躍支援センター(運営:(公財)ふくい女性財団)内に、創業を希望する女性に対する相談窓口を定期的に設置し、創業に関する課題に対して助言を行いました。

○相談件数 66件

(イ) 女性向け創業セミナー

女性の先輩起業家をメンターとして、ライフスタイルを「起業」に活かすプチ起業などの創業意識の醸成を図りました。また、自社の商品をPRする

ためのプレスリリースの方法についてノウハウを習得するワークショップを実施しました。

○開催回数 5回 参加者数 110名

(ウ) ③ 女性向け創業塾

創業の意思はあるものの詳細な事業内容にまで詰めていけない女性を対象に、少人数制のワークショップ型勉強会「女性創業チャレンジ塾」を開催しました。

○開催回数 1回（5回シリーズ） 参加者数 10名

③ ③ ピッチイベント

成長発展志向の起業家によるビジネスパートナーの獲得や資金調達を目的としたビジネス・プレゼンテーション・イベント（ピッチイベント）である「福井ベンチャーピッチ」を開催し、県内ベンチャーの成長と新事業進出の促進を支援しました。また、その事前セミナーとして、IPOを目指すスタートアップ企業を対象に資本政策の知識を習得するためのセミナーを開催しました。

○福井ベンチャーピッチ

開催回数 2回 登壇企業数 10社 聴講者 220名

○スタートアップ勉強会

開催回数 2回 参加者数 24名

(16) 起業・創業促進 [独立行政法人中小企業基盤整備機構委託] (220, 772円)

創業補助金を取り扱う福井県の地域事務局として、既に採択を受けて創業や第二創業に取り組んでいる中小企業等へのフォローアップ等を行いました。

(17) 経営革新等計画サポート ( - )

① 経営革新計画作成支援

中小企業新事業活動促進法に基づく経営革新について、中小企業診断士の資格を持つセンター職員が、ヒアリングや現地訪問を通じて計画書作成に関する助言等を行いました。

○経営革新承認件数 23件

② 新連携事業計画作成支援

中小企業新事業活動促進法に基づく新連携について、中小企業基盤整備機構北陸支部と連携し、申請方法や計画書作成に関する助言等を行いました。

## 販路開拓支援に関する事業【公益目的事業2】（73,653,504円）

県内中小企業が必要とする発注情報を収集・提供し、受注の安定および自社開発製品・技術等の国内外への販路開拓を支援しました。

### （1）ふくいフード販路開拓支援（1,320,057円）

県外への販路開拓を希望する食品関連業者を対象に、WEBサイト等を活用した商品情報の提供や食品バイヤーとの個別取引マッチングなどを行いました。

また、高品質スーパー等の仕入れ担当者との商談会の開催や食品商社が主催するプライベート展示会への出展支援など、取引マッチングの機会を提供しました。

#### ①食品バイヤー向けWEBサイト「バイヤーのための福食市」の運営

○登録企業数 89社（掲載商品累計256品）

#### ②取引マッチング支援

○商談会の開催 1回

○展示会の出展支援 5回

○商談会やWebサイトでの取引マッチング件数 405件

### （2）取引マッチング（3,436,599円）

#### ①受発注情報等収集提供

##### （ア）取引あっせん業務

○受発注企業の新規登録数 74社 取引あっせん紹介 362件

##### （イ）県内受注企業の情報収集・提供

インターネットを活用して県内企業の製品や保有技術を情報発信し、県内外の企業との取引マッチングのサポートを行いました。

また、県内企業の販路拡大を図るため、県外で開催される展示会および金融機関が開催する展示会に出展し、福井県のものづくり企業の保有技術や製品を紹介するとともに取引マッチングを行いました。

○ビジネスマッチングステーション（（公財）全国中小企業取引振興協会のマッチングサイト）への新規登録数 3社

（県内登録企業総数 258社）

○その他金融機関等が開催する展示会

しんきんビジネスフェア 北陸ビジネス街道 2017

##### （ウ）発注企業開拓調査

県内中小企業の受注機会の増大と取引の広域化を図るため、県外の発注企業における生産ならびに外注企業利用の現状と今後の計画等を調査しました。

(エ) 合同広域商談会の開催

近畿6府県、四国4県および鳥取県の計11府県の支援センターと（公財）全国中小企業取引振興協会が連携し、合同商談会を開催しました。

○近畿・四国合同広域商談会（京都）

参加受注企業415社　うち本県企業　6社　商談件数　33件

(オ) その他

近畿経済産業局の販路マッチングナビゲート事業や中小企業基盤整備機構の販路開拓コーディネート事業等の紹介を行いました。

(3) 下請かけこみ寺 [(公財)全国中小企業取引振興協会委託] (562,496円)

下請取引の適正化を推進するため、「下請かけこみ寺」において、専門家による相談対応や紛争解決の支援を行いました。

①相談業務

中小企業の取引に関する相談窓口「下請かけこみ寺」を設置し、専門家が対応しました。また、下請取引上で発生した苦情やトラブルについて、登録弁護士が無料で相談に応じました。

○相談件数　　68件

○無料弁護士相談　19件

②裁判外紛争解決（ADR）業務

中小企業者が抱える下請取引等に関するトラブルを、裁判外紛争解決（ADR）手続きにより調停を実施し、迅速な解決を図るため、県内企業に対して制度の紹介など普及啓発を行いました。

③移動相談会等の開催

中小企業者の取引に関する相談について、登録弁護士が出向き「移動相談会」を開催しました。

○開催回数　9回　相談件数　5件

(4) 取引情報提供 (2,241,179円)

県内外の優良企業からの発注情報を広く収集し、県内企業に対して適時適切な情報提供を行い、受注機会の増大に努めました。

(5) 海外事務所運営管理 (31,719,753円)

福井県が中国に開設している上海事務所の運営管理を行いました。

(6) ふくい貿易促進機構運営 (15,308,251円)

アジア市場における県内企業の販路拡大を促進するために県と経済界等が設立した「ふくい貿易促進機構」において、県とともに機構の活動拠点である「ふくい上海ビジネスサポートセンター」、「ふくいバンコクビジネスサポートセンター」および「ふくい貿易促進プラザ」の管理運営等を行いました。

○ふくい上海ビジネスサポートセンター	相談件数	684件
○ふくいバンコクビジネスサポートセンター	相談件数	952件
○ふくい貿易促進プラザ(福井商工会議所内)	相談件数	133件
○上海日本酒バイヤー招聘による個別商談会	訪問企業	7社
○FOOD TAIPEI 2017@台湾	参加企業	県内 2社
○FOOD EXPO 2017@香港	参加企業	県内 7社
○ものづくり商談会@バンコク2017	参加企業	県内 2社
○日中ものづくり商談会@上海2017	参加企業	県内 7社
○伝産品・工芸品バイヤー招聘による商談会	参加企業	県内 17社
○食文化提案会・商談会(香港、シンガポール)	参加企業	23社
○台湾販路開拓プロモーション	参加企業	7社
○ものづくり商談会@ハノイ2018	参加企業	県内 2社
○タイ眼鏡バイヤー招聘による個別商談会	訪問企業	8社

(7) ⑨ 福井ふるさとエコノミー推進 (156,510円)

地元企業間の取引を活発化させ、県内でお金とモノを循環させる福井ふるさとエコノミーを推進するため、ビジネスマッチング交流会等を開催しました。

○支援機関等の営業人材ネットワークの構築

営業人材ネットワーク参加者 31名 (※H30年3月末現在)

○経済若手4団体<sup>(※)</sup>会員を対象としたビジネスマッチング交流会 1回  
参加者 79名

※県商工会議所青年部連合会、県商工会青年部連合会、県中小企業団体中央会、  
日本青年会議所北信越地区福井ブロック協議会 会員数 延べ約2,200名

**資金支援に関する事業【公益目的事業3】(645,332,180円)**

地域資源を活用した商品開発や経営の多角化等に対する資金支援、必要な設備の割賦販売またはリース等を行いました。

(1) ふくいの逸品創造ファンド (266,841,317円)

①ブラッシュアップ支援

企業の地域資源を活用した事業展開を促進するために、意識啓発セミナーの開催、個別の事業計画磨きなおしを行いました。また、助成した商品の販路開拓を支援するため、スーパーマーケット・トレードショー2018（会場：幕張メッセ）への出展支援を行いました。

- セミナー開催 1回 受講者数 43人
- スーパーマーケット・トレードショー2018 出展  
出展企業 6社 来場者数 88,121人（主催者発表）

さらに、本県の地域資源である眼鏡や繊維などを活用して開発・製造したウェアラブルデバイスおよび素材等を、首都圏で開催される展示会へ共同出展し、技術開発および販路開拓のためのマッチングを支援しました。加えて、県内企業の「IoT」「ウェアラブルコンピュータ」分野へのビジネス展開の支援を目的として、本分野に関して第一線で活躍する専門家を講師に招いた勉強会を開催しました。

- ウェアラブルEXPO2018 共同出展  
出展企業 8社 来場者数 15,763人（主催者発表）
- IoT&ウェアラブル関連端末勉強会 6回 受講者数 235人

## ②創業支援

創業者が行う地域の需要や雇用を創出する取り組みに対して、起業・創業に必要な店舗等の賃料やマーケティング調査、広報等の経費の一部を助成しました。（助成率2/3以内 助成限度額200万円）

- 対象者 県内で新たに創業する者または創業して5年以内の者
- 採択者数 18件 交付決定額 30,353千円

## ③企業等への助成

地域資源を活用した創意工夫ある取り組みを幅広く支援するため、ふくい逸品創造ファンドの運用益で助成を行いました。

- 対象
  - ・恐竜ブランドを活用して行う新商品の開発、販路開拓
  - ・スポーツ、医療関連分野への展開を図るために行う新商品の開発、販路開拓
  - ・おもてなし産業への展開を図るために行う新たな土産品の開発、販路開拓
  - ・地域資源（福井の強み）を活用した新商品の開発、販路開拓
  - ・各産地の企業が連携し、新商品の開発等に係るモデル的取り組み（繊維・眼鏡・伝統工芸品・農商工・小規模企業）
- 新規採択事業数 28件 交付決定額 62,258千円

(2) ふるさと企業育成ファンド(111, 111, 557円)

①新分野展開スタートアップ支援

県内中小企業の元気再生につなげるため、ふるさと企業育成ファンドの運用益で、新分野展開を行う中小企業者が、既存事業の経営資源を活用した経営の多角化等に対して助成しました。(助成率2/3 助成限度額1,000万円)

○新規採択事業数 11件 交付決定額 79,995千円

②ものづくり人材育成修学資金貸付支援

ふるさと企業育成ファンドの運用益で、ものづくり企業(県内に本社を有する製造業または情報系サービス業)に就職を希望する県内外の理工系大学院生(修士課程・博士課程)に対して、修学資金を貸与しました。

○貸与決定学生数 20名 貸与額 23,040千円(月6万円/人)

※修了後、7年間継続勤務すれば全額免除

(3) ふくいの老舗企業チャレンジ応援(59,997,154円)

地域に親しまれている老舗企業に対し、事業継続に必要な店舗改装等の取組みにかかる経費の一部を助成しました。(助成率2/3 助成限度額300万円)

○対象事業 創業から30年以上を経過し、商工会・商工会議所と連携して事業計画を策定する小規模事業者に対し、店舗改装等の経費を助成

○採択事業数 26件 交付決定額 59,950千円

(4) 来住者IT創業支援(400,000円)

本県に不足する専門的技術者のU・Iターンを促進するため、県外から移住し情報関連分野等で開業する者を対象に創業経費の一部を助成しました。

○対象者 県産業情報センター創業者支援オフィスに入居または創業マネージャーへ相談し開業する県外からの移住者

○交付件数 2件 交付決定額 400千円

(5) 設備貸与(185,971,924円)

小規模事業者等の創業および経営基盤の強化に必要な設備の割賦販売またはリースを行いました。また、利用企業に対して状況調査および民間診断員、支援センター職員による巡回指導などを実施しました。

[事業実施状況]

○貸与・リース実績 5件 84,370千円

[債権管理状況]

○正常債権の状況

年度末残額 356百万円(割賦302百万円、リース54百万円)

○未収債権の状況

年度当初未収債権額	24.9百万円	(5件)
年度内増加額	0百万円	(0件)
年度内減少額	6.1百万円	(5件)
年度末残高	18.7百万円	(4件)

[利用状況調査および巡回指導事業の実施状況]

○利用状況調査 31件 巡回指導の実施 31社

(6) 資金管理 (90,000円)

創造的企業高度化間接投資事業の債権管理事務を行いました。

## 技術開発・デザイン振興に関する事業

### 【公益目的事業4】(341,044,489円)

未来の県内産業を支える企業のモノづくりのための技術開発、新技術の研究開発、国や他機関の公募型の受託事業および補助事業を活用した産学官の緊密な連携・交流、商品企画やデザイン開発力の向上のためデザイナーの派遣や研修、大都市圏で活躍するバイヤー等による商品求評会などを通じて、技術開発・商品開発の促進、経営基盤の強化等を総合的に支援しました。

(1) ふくいブランドものづくり推進

①ふくい産業技術広報 (873,680円)

技術情報を掲載した機関誌「テクノふくい」の発行や、大学や公設試の技術シーズ展示等を実施しました。

- 機関誌発行 2回 発行部数500部/回
- 展示会出展 (北陸技術交流テクノフェアなど)

②ふくい新技術・新工法展示商談会 (3,412,190円)

県外大手企業等が要求する技術ニーズや製品等と県内企業の技術シーズや製品とのマッチングを図るため、福井県自動車部品製造協会と共同で全国規模の自動車産業関連の展示商談会に出展しました。

《H29.10.4～6 第20回関西機械要素技術展(会場:インテックス大阪)》

出展企業・機関数 6社 商談件数 65件

③技術研究開発マンパワー育成 (523,064円)

将来の技術研究開発を担う人材を育成するため、繊維分野における優秀な県内技術者・研究者3名を表彰しました。また、若手技術者・研究者の海外展示会での先

端技術の発表に対して助成しました。

- 表彰 繊維技術功績賞 3名
- 助成 次世代技術国際発信支援 1件

④オープンイノベーション推進部運営（3,658,549円）

産学官連携の推進を図るための事務を行いました。

**（2）産学官連携・交流**

①産業技術コーディネート（797,610円）

先進施設等の調査を行い、また企業の技術者とともに大学研究室訪問を実施するなど、技術ニーズと研究シーズのマッチングのためにコーディネート活動を行いました。

- IR交流会の開催 125回
- 研究会支援 4件  
（福井県繊維技術協会、福井県異業種交流推進協議会、  
ふくい宇宙産業創出研究会、福井しあわせ健康産業協議会）
- 産業技術振興先進地調査  
多摩川精機(株)の航空宇宙産業に関する取り組みや販路開拓について調査  
参加者：18名（企業：11、銀行：1、大学：2、県等：4）

②産総研等連携推進（1,870,220円）

産業技術総合研究所（産総研）福井サイトのイノベーション・コーディネータと連携して産総研のシーズと県内企業のニーズのマッチングを行いました。

また、産総研との共同研究に向けた可能性試験調査研究（FS）を支援しました。

- マッチングイベントの開催 3回
- 産総研連携研究支援（可能性試験調査研究） 2件

③研究開発創出・補完研究開発支援（481,910円）

当センターがこれまでに推進してきた産学官共同研究プロジェクトの成果を活用し、実用化を目指して研究開発していく企業の補完研究を支援しました。

その他、冊子「産学官共同研究プロジェクト」を作成・配布しました。

**（3）広域的連携技術研究開発**

①戦略的基盤技術高度化支援〔経済産業省補助〕（123,938,528円）

中小企業のものづくり基盤技術の高度化に関する法律に基づく技術分野の向上に

つながる研究開発からその試作までの取り組みを支援しました。

[研究テーマ]

- A 転移性骨腫瘍患者向けカスタムメイド人工骨幹製造技術の確立
- B 特殊側面発光糸を製織できるジャカード織物製造システム、および癒しと安全の機能を提供可能な次世代自動車内装材用織物の研究開発
- C Ti50Ni 合金の組織緻密化による細径収縮／高耐久性／高自己拡張型ステントの開発
- D プレス式水冷システムを用いた双晶組織形成制御による高音質なシンバル用高錫濃度ブロンズ合金の開発

[研究期間]

- A 平成29年度～平成31年度（3年間）
- B 平成29年度～平成31年度（3年間）
- C 平成28年度～平成30年度（3年間）
- D 平成27年度～平成29年度（3年間）

## ②北陸ライフサイエンスクラスター支援 [文部科学省補助事業]

富山県、石川県、福井県の北陸3県が一体となり、北陸地域において「健やかな少子高齢化社会の構築をリードするライフサイエンスクラスター」の形成を目指した予防や診断、治療分野における取り組みについて、当センターは、総合調整機関である一般財団法人北陸産業活性化センターのブランチとして、地域連携コーディネータの環境整備や、情報提供等を行いました。

[研究テーマ]

- 地域イノベーション戦略支援プログラム(国際競争力強化地域)  
「健やかな少子高齢化社会の構築をリードする北陸ライフサイエンスクラスター」の形成

[研究期間] 平成25年度～平成29年度（5年間）

## ③研究成果展開(スーパークラスタープログラム)[独立行政法人科学技術振興機構受託]

(76, 145, 890円)

京都地域および愛知地域の「コアクラスター」の「サテライトクラスター」となって、戦略テーマである『クリーン低環境負担社会実現ネットワークの構築』を実現する「スーパークラスター」を形成するため、当センターが代表機関となり、研究参加機関の研究開発を支援しました。

[研究テーマ]

- A 分散型ロードレベリング実現・実証に向けた福井地域基盤産業技術統合化クラスター
- B GaN系半導体のパワーデバイス応用に関する研究開発

[研究期間] A・B 平成25年度～平成29年度（5年間）

④中小企業等外国出願支援（6,514,960円）

知的財産を活用して、海外へ事業を展開展開しようとする中小企業に対して、戦略的な国際特許等出願の支援を行いました。

○支援企業数 6社 9件

⑤北陸産地繊維産業力集結事業（11,454,597円）

[企業連携体による新商品開発・販路開拓活動支援（助成事業）]

北陸合繊産地において、福井県、石川県の企業が固有の技術・ノウハウをもとに県域を越えた連携の下に行う新商品開発・販路開拓を支援しました。

（助成率 2/3 助成限度額1,000万円）

[助成事業]

- A 雨衣（ポンチョ等）及び関連商品の開発・販路開拓事業
- B 洗濯性に優れた宿泊施設向け高付加価値ニットウェアの開発・安定生産・販路拡大
- C ウェアラブル商品用の導電性繊維センサー及び繊維ケーブルの開発事業
- D スポーツ及びインナー用途向けの強撚編物生地の開発と大手スポーツ・肌着メーカー等への販路開拓事業

⑥地域中核企業創出・支援（経済産業省委託事業）（1,962,862円）

小型人工衛星の設計・製造技術の習得を支援するため、県内外の大学や研究機関等から講師を招いて、セミナーや研修会、先進企業調査を実施しました。

- セミナー開催 （2回）
- ワーキンググループ （3回）
- 実地研修会 （2回）
- 先進企業調査 （10企業）

⑦地域イノベーション・エコシステム形成プログラム [文部科学省補助事業]

（2,450,445円）

福井大学産学官連携本部およびふくいオープンイノベーション推進機構と連携し、福井大学が有する光の制御技術をコアとした超小型光学エンジンの用途展開、事業化を推進するための支援を行いました。

- ふくい光学エンジン研究会の設立および開催 2回
- 各種展示会等調査
- 可能性試験委託 2件

⑧研究開発フォローアップ（４７，０１６，２５８円）

戦略的基盤技術高度化支援等の受託事業について、事後のフォローアップ等を行いました。

（４）受託研究・共同研究（１０，１８７，９５７円）

県内ものづくり企業等の技術・製品の成長分野への進出を促進するため、県外企業等から研究に要する経費を受入れ、オープンイノベーション推進機構をとおして、受託研究や共同研究を実施しました。

（５）技術情報化推進（９１２，１４３円）

福井県工業技術センターの技術開発成果等をインターネットや小冊子で広く周知する事業を福井県から受託して行いました。

（６）デザイン情報提供（４５２，７２９円）

①デザイン情報の収集・発信

さまざまなデザイン情報を収集し、インターネットや情報誌などを用いて、県内企業やデザイナーに情報を配信しました。

②デザイナーバンクの整備

県内デザイナーを活動別に分類・登録し、企業等に紹介しました。

○登録公開デザイナー数 １４４名

③デザイン指導相談

繊維、伝統工芸、食品加工分野等の企業が抱えるデザインに関する課題に対して、職員が相談および指導を実施しました。

○指導相談件数 １０８０件

④職員の派遣(審査員、委員、講師等)

福井広告賞、国体ユニフォーム作製業者選定等に審査員として、また福井染色研究会等の講師として職員を派遣し、デザイン啓発支援を行いました。

○派遣件数 １６件

（７）**新**デザインラウンジ交流（６５８，０１１円）

県内産業のデザイン力および市場への販路開拓力の向上を目的に、福井ものづくりキャンパス施設等を活用した展示企画や、大都市圏での展示商談会への支援およびデザイン講習会を実施しました。

○県内企画（実施回数：６回） 会場：サンドーム福井 多目的ホール

○その他展示サポート（実施回数：4回）

○県外企画 「ニューフクイ」企画展 会場：松屋銀座

参加企業 9社

○セミナー 「販路開拓に関する講演会」 会場：サンドーム福井

参加企業 10社

#### （8）福井ものづくりキャンパス教室運営（4, 895, 901円）

福井ものづくりキャンパスを、ものづくり産業の振興や人材育成の拠点として活用するために、ものづくり企業、職人、デザイナー、学生など幅広い層を対象に講座・教室等を開催しました。

○講座・教室 [会場]福井ものづくりキャンパス 多目的ホール、ワークルーム等

・大人のクラフト教室 6回 参加者数 113名

・キッズ体験隊 3回 参加者数 親子83組

・クラフトマルシェ 2回 出展企業 18社 参加者数 8, 118名

・デザイン基礎コース（6日間） 参加者数 30名

・デザインラボ 2回 参加者数 5, 331名

・空飛ぶものづくり文庫

○広報関係

福井ものづくりキャンパスの講座・教室等をラジオ、インターネット、SNS等を活用して広報しました。

#### （9）産業デザインプロデュース（2, 725, 945円）

①デザイナー派遣

商品企画、デザイン開発、販路開拓等、企業の要請に応じ、県内の専門デザイナーを派遣し、具体的な指導を行いました。

○デザイナー派遣企業数 6社 派遣回数 30回

※参考 [類似事業]：中小企業・小規模事業者ビジネス創造等支援（近畿経済産業局 ミラサポ専門家派遣）

派遣先企業数 5社 派遣回数 15回

②産地ブランディング支援

団体、企業グループを対象に、市場動向、商品企画、デザイン評価等共通する課題に対し、第一線で活躍しているデザイナー等の指導によるコンサルティングを行いました。

○グループカウンセリング 8グループ（11回）

#### （10）福井デザインアカデミー（4, 713, 000円）

県内中小企業の経営者や商品開発担当者に対して、デザインマネジメントや

商品開発手法、デザインプロモーション戦略等に関する研修を実施しました。  
また、社会のニーズに沿ったテーマ性のあるデザイン企画展示および、著名デザイナー等による講演会を実施し、デザイン開発事例を具体的に紹介しました。

○デザインセッション 受講者数 250名  
(展示来場者数 12,000人)

○ブランディング&商品開発講座 受講者数 20名

#### (11) 国体商品企画トータルサポート (849,891円)

県内企業から提案のあった、福井国体を契機として販路拡大効果が見込まれるものや将来にわたって販売増が見込まれる商品開発に対し、専門家を派遣し企画のブラッシュアップ、マーケティング手法に対するアドバイスを行いました。

○デザイナー等専門家の派遣 5社 派遣回数 20回

### 人材育成に関する事業【公益目的事業5】(117,795,082円)

企業等の経営者、管理者および技術者等の育成と能力向上を図るための研修を実施しました。

#### (1) 人材育成《集合研修》(5,160,719円)

多様な企業のニーズに応じた研修テーマを設定して、集合研修を実施しました。

○コーチングやマーケティングなどの講座 12講座 受講者数 279人

#### (2) 福井県中小企業産業大学校運営(54,506,945円)

##### ① 中小企業産業大学校施設運営

指定管理者として、県内中小企業における研修や会議等に必要経営者や従業員の経営管理または技術に関する研修等に必要施設・設備の提供や、維持管理等の運営業務を行いました。

○施設貸出件数 2,046件

##### ② 経営・技術人材育成

中小企業の経営者、管理者および技術者等の育成と能力向上を図るための研修を実施しました。

○新社会人研修や現場改善などに関する研修 20講座 受講者数 477人

○眼鏡およびその他の専門分野の

生産技術に関する研修 4講座 受講者数 77人

○産業学院連携実務講座 2講座 受講者数 42人

○公開講座 2講座 受講者数 168人

### ③学びなおし支援

中小企業産業大学校に、「学びなおしサポートセンター」を設置し、働きながら大学で学ぶなどスキルアップを目指す従業員の学びなおしを支援しました。

- 大学等の講座情報の収集および提供
- 自主学习支援ブースの設置 利用人数 1200名
- 通信制大学の入学説明会等の誘致  
入学説明会（合同入学説明会 1回 30大学参加、科目試験等 12回）  
社会人の「学びなおし展」 来場者 185名
- キャリアアップに関する相談実施  
相談件数 専門家 7件 職員 29件

### (3) ④ものづくり企業生産性向上支援 (13,093,396円)

- ものづくり改善インストラクタースクール  
県内ものづくり企業の生産現場の問題把握や業務改善の助言・指導を行う人材を育てる「福井ものづくり改善インストラクタースクール」を開講しました。  
受講者 15名
- ⑤ものづくり改善インストラクター派遣  
スクールを修了した企業OBを専門家として、有料で県内企業に派遣し、具体的な現場改善活動を支援しました。  
インストラクター派遣数 3企業 延べ15回
- ものづくり改善インストラクターフォローアップ研修 4日間
- ものづくり改善インストラクタースクール成果発表会 2回

## 企業等の個別の要望に対して実施する経営支援等に関する事業

### 【収益事業1】(10,547,506円)

中小企業等の成長促進のため、公益事業で行っている事業では対応のできない、企業等が求める個別具体的な課題解決に対し、専門性の高いニーズに対応するため、当センターが持つ支援機能およびネットワークを活用して支援を行いました。

#### (1) 経営コンサルティング(492,522円)

企業の現状分析・課題の抽出・改善策の提案を行なう企業診断を実施しました。診断後、継続的なフォローや提案内容の実践に対する助言を希望する企業については、コンサルティング事業を行いました。

- 実施件数 3件

(2) 教育コンサルティング (5,018,015円)

個々の企業の状況に合わせたオーダーメイドの研修プログラムを提案・実施しました。

○実施件数 18件 (13社)

(3) デザイン受託 (3,980,336円)

自治体、公共団体や各種団体等からデザイン制作等を受託して、県内デザイナーを活用して制作しました。

○受託件数 2件

(4) ⑧企業情報ホームページ管理 (573,799円)

県内企業の受注を促進するため、各企業の技術や設備を紹介するホームページ「元気企業Webサイト」をリニューアルし、情報の提供を行いました。

また、ホームページ掲載企業の受注機会を創出するため、県外の発注企業を招聘し、県内で「福井県元気企業ものづくり商談会」を開催しました。

○掲載企業数 161社

○⑨福井県元気企業ものづくり商談会

県外発注企業 20社 県内受注企業 23社

面談件数 100件

**法人事業 (56,138,737円)**

事務所および情報機器等の借上・運営や、資質向上を図るための職員の研修など、法人の運営・管理を行いました。

①法人運営に要する事務局経費

②職員能力開発強化

職員の資質向上を図るため、中小企業基盤整備機構の中小企業大学校で開催される研修等に職員を派遣しました。

○研修派遣職員数 3人